

# 週間市場レポート (2019年9月16日~9月20日)

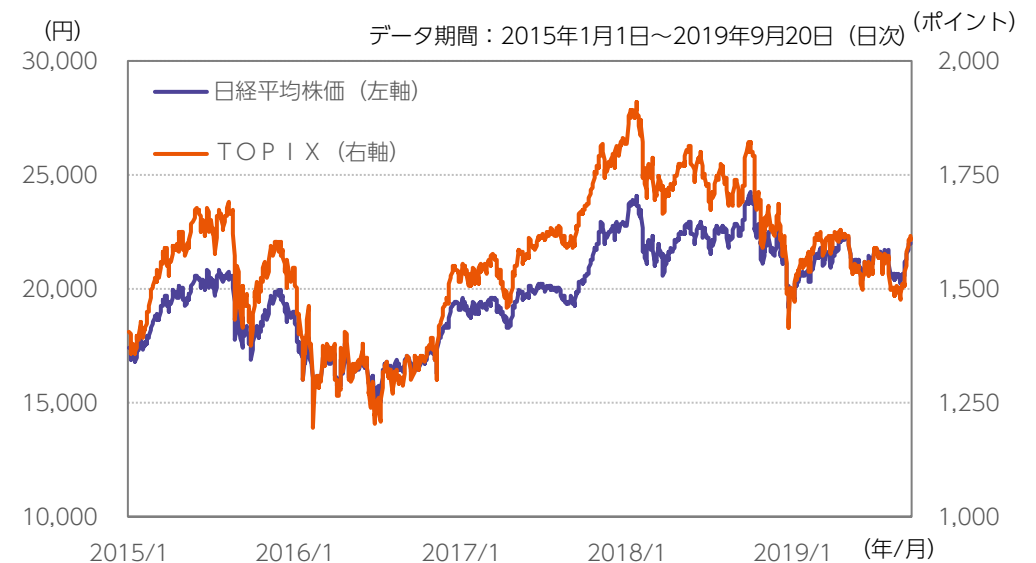
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2019/9/13	先週末 2019/9/20	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		21,988.29	22,079.09	0.41
TOPIX (東証株価指数)		1,609.87	1,616.23	0.40
ダウ工業株30種平均 (ドル)		27,219.52	26,935.07	▲ 1.05
S&P500種指数		3,007.39	2,992.07	▲ 0.51
ユーロ・ストックス50指数		3,550.11	3,571.39	0.60
S&P/ASX300指数		6,628.75	6,689.69	0.92
上海総合指数		3,031.24	3,006.45	▲ 0.82
MSCI AC アジア (除く日本)※		789.66	783.32	▲ 0.80
東証REIT指数		2123.91	2135.41	0.54
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		767.27	782.75	2.02
ASX300 REIT 指数		1588.00	1590.00	0.13
グローバルREIT (除く日本)※		196.01	198.55	1.29
日本10年国債 (%)		▲ 0.15	▲ 0.21	▲ 0.05
米国10年国債 (%)		1.90	1.72	▲ 0.17
ドイツ10年国債 (%)		▲ 0.45	▲ 0.52	▲ 0.07
英国10年国債 (%)		0.76	0.63	▲ 0.13
ドル/円		108.09	107.56	▲ 0.49
ユーロ/円		119.72	118.53	▲ 0.99
英ポンド/円		135.16	134.25	▲ 0.67
豪ドル/円		74.37	72.78	▲ 2.14
フィラデルフィア半導体指数		1605.65	1563.01	▲ 2.66
WTI原油先物 (ドル)		54.85	58.09	5.91
CRB指数		174.79	177.34	1.46
アレリアンMLP指数		1,210.91	1,225.87	1.24

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇となりました。週初は、小幅ながら上昇し10営業日続伸となりました。米連邦公開市場委員会（FOMC）と日銀金融政策決定会合の結果を控えた様子見ムードと、中東情勢緊迫化の警戒などから一時やや売りが優勢となったものの、週間では前週末比で上昇となりました。



日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。  
日銀が金融政策決定会合後の声明文において「次回の会合で経済や物価の動向を改めて点検していく」と新たに明記し、追加緩和観測が高まったことなどから債券買いが優勢となり、日本銀行の金利誘導目標の下限（-0.2%程度）を下回って週の取引を終えました。



### 3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。  
中東における地政学リスクの高まりや米中貿易協議の動向、FOMCの結果等を受け週を通じて一進一退の展開となりました。



出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

### 4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。  
日銀が金融政策決定会合で現状維持を決定したこと、米中貿易摩擦の警戒感などから相対的に低リスク通貨とされる円は買いが優勢となりました。



### 5) 今週の見通しについて

先週末までに主要国の金融政策決定会合が終了し、日米欧ともに市場予想通りの結果であったことや、米中貿易協議にやや進展がみられたことなどから、先週の株式市場は落ち着いた値動きとなりました。

今週は、ドイツのIfo景況感指数や米国の住宅や個人消費に関する指標の発表を控えています。23日（月）に公表されたドイツ総合購買担当者指数（PMI）において製造業の一段の低迷が確認されたことから、24日（火）公表のIfoの結果が注目されます。主要経済指標に大きなサプライズがなければ、株式市場は概ね横ばい圏での推移となると思われます。ただし、米中貿易摩擦が再燃した場合や、トランプ米政権とイランとの新たな核合意に向けた交渉が難航した場合などには、株式市場は下落するものと思われます。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>